

緑化だより

No.46 平成22年1月号



平成21年度秋の緑化写真コンクール特選 「朝のひかり」

平成21年度秋の緑化写真コンクール 入賞作品紹介

生き物いっぱい 自然いっぱい

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp

平成21年度秋の緑化写真コンクール 入賞作品決定!!

12月6日(日)に行った緑化研修会『冬の写真教室』において、平成21年度秋の緑化写真コンクールの公開審査を行い、以下のとおり入賞作品が決定しました。

今年度は、36名:92作品の応募があり、特選1名、入選3名、佳作5名の9名の方が入賞されました。

入賞した作品、及び応募された方各1点をレストハウスにて『秋の緑化写真コンクール作品展』として、平成22年1月11日(祝・月)まで展示いたします。また、入賞された作品は緑化センターオリジナルカレンダーにも掲載する予定です。

引き続き、22年度も実施いたしますので、皆様のご応募お待ちしております。

(敬称略)

賞	作品主題	氏名
特選	朝のひかり	伊勢 雅子
入選	華秋	佐伯 佳正
	落葉	高橋 孝之
	冬桜	迫 早智子

賞	作品主題	氏名
佳作	逢瀬	平元 一幸
	秋化粧	岡嶋 幸子
	色んな紅葉たち	原山 広寿
	仲良く	梶川 てるこ
	ファンタジーの中へ	吉田 喜子

特選

撮影者のコメント

少し霧が出はじめた頃、森の奥から日が射し始めた。



『朝のひかり』伊勢 雅子

講評:光を上手に利用し撮影している。コントラストも上手に表現しており、仕上げも良かった。バックが紅葉ならまだ良くなる。

入選



『華秋』佐伯 佳正

撮影者のコメント

真っ赤なもみじもきれいでしたが、木の下で落ち葉がもっときれいでしたのでシャッターを切りました。

講評: 構図が良く、色も良く出ている。ややコントラストが上がりすぎている感じ。

撮影者のコメント

黄色いもみじと赤いもみじの競演に感動。秋の森は華やいている。

講評: 色がしっかり出ている、華やかな秋という感じがでている。斜めに出ている枝を下の赤いもみじが、しっかり受け止めているという構図が良い。



『落葉』高橋 孝之

撮影者のコメント

初めてみました。とてもかわいいピンク色で、手にとってみたくになります。

講評: 緑化センターらしい風景で人物が入ることにより、良くなっている。奥のイチヨウの黄葉で秋を感じる。



『冬桜』迫 早智子

佳作

撮影者のコメント

落ち葉が浮く池に映った冬枯れの木々を撮っていたら、緋鯉が待ち合わせでもしていたかのように白い鯉に寄ってきた。つかの間の逢瀬だったのかも知れない。

講評: 秋を感じさせて非常に良いが、過去の入賞作品で同じような作品があったので、上位には入らなかった。



『逢瀬』平元 一幸

撮影者のコメント

深まっていくにつれて変わってくる秋の色を求めて撮りました。

講評:秋の色の静けさと派手さが両方でている作品。紅葉と寄植の緑葉のバランスが良い。暗い部分に何か一つあれがもっと良くなる。



『秋化粧』岡島 幸子



『色んな紅葉たち』原山 広寿

撮影者のコメント

同じ木に色の違う紅葉に美を感じた。

講評:モミジの色が多彩で良かった。仕上げを良くするともっと良くなる。



『仲良く』梶川 てるこ

撮影者のコメント

いつ見ても心なごむ風景で、いつまでも続いてほしい祈り。

講評:構図が良く、池の深みを感じることができる。水面に映る紅葉が季節感を出している。池に浮かんでいるゴミが気になる。



『ファンタジーの中へ』吉田 喜子

撮影者のコメント

色とりどりの落ち葉やどんぐりを探してどんな夢を描いているのでしょうか。

講評:緑化センターらしいスナップ写真である。好奇心旺盛な子供の状況が伝わってくる。日が当たっている所の色が飛んでいる。仕上げを上手にすると良くなる。